

第13回離島対策等検討会 議事録

1. 日時 平成20年6月10日(火)10時00分～11時30分
2. 場所 日本自動車会館11階
(財)自動車リサイクル促進センター第2会議室
3. 現在の委員数 3名
4. 出席者 藤井座長、大杉委員、渡邊委員
以上3名全員出席
5. 議題 1)平成19年度 離島対策等支援事業結果報告
2)不法投棄等対策支援事業ガイドライン(案)中間報告
6. 議事録

議題1)については、資料3「平成19年度離島対策支援事業 実施結果報告」を中心に、議題2)については、資料3別紙6「平成19年度 不法投棄等対策支援事業ガイドライン(案)中間報告」に基づき説明し、両議題とも承認された。

なお、上記2議題は6月17日(火)に資金管理業務諮問委員会にて報告済み。

主な質疑・意見は次ページをご覧ください。

【主な質疑・意見】

(注)◇は委員からの質問・意見 ◆は事務局からの説明

(1) 離島対策支援事業について

◇離島対策支援事業については、個々の支援活動を丹念に行なっており、申請台数が増加する等、着実に浸透していると評価。
今後とも、申請低調市町村を重点に、個別の課題に応じたきめ細かな支援の継続を要望する。

◆市町村間浸透度の濃淡を更に改善するため、保有台数等優先度を明確にした支援活動を実施する。

(2) 燃料費高騰について

◇近年の燃料費高騰は本支援事業にも影響が極めて大きい。
今回提示された基本的考え方および計算方法を基準とし、タイムリーに対応することが肝要。

◆今回承認いただいた基本的考え方および値上げ幅の算定方法を内規にて整理し、原則四半期毎に値上げ幅の算定を行い、妥当な数値を見直し、離島対策等検討会各委員に承認いただいたうえで、変更申請等にタイムリーに対応していく。

(3) 不法投棄等対策支援事業について

◇ガイドライン作成等による業務効率化を期待。
一方、本支援制度が安易に利用されるといったモラルハザードを来さないよう、再発防止策を徹底する等事後対策が重要。

◆実施済みの自治体に対しては、求償等再発防止のフォローを確実におこなっていく。

(4) その他

◇離島対策等支援事業は、公益的業務を、民間が運営するユニークな存在。制度が発足してほぼ3年間になることから、放置車両が減少した経緯や、支援事業活用促進活動のプロセスなど、これまでの活動で蓄積されたノウハウについてデータとして整理し、公表してはどうか。
今後、国内外で同様の取り組みを実施する際の参考になるはず。

◆これまでの取り組みの成果を整理し、来年6月に報告したい。

以上